

研修ローテーションの例

年目	施設名	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月											
		領域											
1年目	施設名	県立中央病院、県立中部病院、県立胆沢病院、県立磐井病院、川久保病院											
	領域	総合診療Ⅱ											
2年目	施設名	岩手県立中央病院、県立中部病院、県立胆沢病院、県立磐井病院、川久保病院など											
	領域	内科											
3年目	施設名	岩手県立中央病院、中部病院、胆沢病院、磐井病院、医大救急						藤沢病院、さわうち病院、東和病院、さわやかクリニックなど					
	領域	小児科		救急科		総合診療Ⅰ							
	施設名	藤沢病院、さわうち病院、まごころ病院、さわやかクリニックなど						県立中部病院 緩和ケア科		県外施設研修			
4年目	施設名	藤沢病院、さわうち病院、まごころ病院、さわやかクリニックなど						県立中部病院 緩和ケア科		県外施設研修			
	領域	総合診療Ⅰ						選択研修		選択研修			

プログラムの特徴

- ✓ 県内の総合診療/地域医療に関わる広いネットワーク
- ✓ 多様な研修環境 → 多様なキャリアプラン、ライフプランに対応
- ✓ 岩手県で初期研修を修了した方は、慣れた同じ施設で3年目をスタートできる
- ✓ 1ヶ月に2日間 研修日を確保＝「プロテクトタイム」で振り返りをサポート
- ✓ 岩手医科大学図書館をリモート含めて利用可能 → 文献アクセス・課題解決
- ✓ 「3年」か「4年」かは自由選択
- ✓ 国内の短期研修が3～6ヶ月可能（ただし4年研修の場合）
- ✓ 修了後のキャリア選択は自由（いわゆる大学医局への入局ではありません）
→ 専門研修修了後、教育や研究に力を入れたい場合も 全面的にサポート！

家庭医療/総合診療の教育に長けた外部講師とのWeb「振り返り」セッションを
福島医科大学 総合診療医センターのご支援を頂いておこなっています！

お問い合わせ

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1
岩手医科大学附属 内丸メディカルセンター
総合診療医学講座 総合診療専門研修プログラム事務局
TEL : 019-613-6111 (内丸メディカルセンター代表)
Mail : soushin@iwate-med.ac.jp

いわてイーハトーヴ 臨床研修病院群で研修中の初期臨床研修医の方は、
初期研修基幹施設内の総合診療プログラムの担当者にお声がけください。



ページ下部の
お問い合わせフォーム
にご記入ください

いわてイーハトーヴ 総合診療専門研修プログラム

全人的医療を行い地域全体の健康を守る「良医」を育成し、
岩手ひいては日本の地域社会に貢献する

Mission

Vision

- ✓ 患者さんを、背景を持った1人の人間として総合的にみる
- ✓ 地域をまるごとみる
- ✓ 地域の中で、患者さん・医療者・行政や福祉など他の職種・地域社会を支えてつなぐ「かけはし」となる

誇りを持って実践する総合診療医を、継続的に育成する

Value

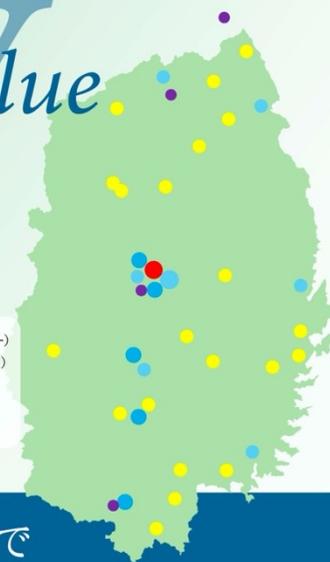
「専攻医ファースト」で自由度高く
「オール岩手」で研修をサポート

定員：6名/年 期間：3～4年

- ① 岩手県の統合プログラム
- ② 基幹病院で総合診療Ⅱ、内科、救急、小児科を研修
- ③ 岩手県内（+八戸市民病院）に38の連携施設
- ④ 振返り、ポートフォリオ作成などの時間を保証
→ レジデントデイとして設定

**新・家庭医療専門医
並行研修可能**

- 基幹施設（岩手医大 内丸メディカルセンター）
- コア施設 総合診療Ⅱ 内科 小児科（救急）
- 内科 小児科（救急）
- 総合診療Ⅰ
- 選択研修（救急、在宅など）



自然が豊かで、人が温かい **岩手** で
総合診療医を目指しませんか



岩手では施設の垣根を超えて、全人的医療を提供し、地域を守るための「良医」を育てるためのネットワークが醸成されています。このネットワークの強みを、総合診療医の専門研修でも十分に発揮し、岩手医科大学 総合診療医学講座が教育面やキャリア形成でサポート・ハブ・調整機能を担い、地域医療・総合診療に関わる岩手の主要な医療機関の総力を結集し、専攻医の成長を支えることができるプログラムを「オール岩手」でつくり、2022年度から開始しました。

基幹施設 岩手医科大学附属 内丸メディカルセンター（内丸MC）

連携施設

総合診療 I

- 一関市国保藤沢病院、○町立西和賀さわうち病院、○国保葛巻病院、○洋野町国保種市病院、○奥州市国保まごころ病院、○済生会岩泉病院、八幡平市立病院
- 盛岡医療生協さわやかクリニック、○エールクリニック八幡平釜石病院、○東和病院、遠野病院、大東病院、山田病院、軽米病院、高田病院、○千厩病院、一戸病院、江刺病院
- 久慈市国保山形診療所、二戸市国保浄法寺診療所

総合診療 II

- 中央病院、○中部病院、胆沢病院、磐井病院、○川久保病院

内科

総合診療 II の施設 + 久慈病院、二戸病院、宮古病院、大船渡病院
盛岡赤十字病院、盛岡市立病院、北上済生会病院

小児科

内科と同施設で、小児科常勤・入院対応がある施設

救急

岩手医科大学(岩手県高度救命救急センター)、中央病院、中部病院、久慈病院、大船渡病院、磐井病院、八戸市民病院

選択

もりおか往診クリニック、中部病院 緩和ケア科、一戸病院・南光病院 精神科
専攻医の希望で総合診療 II 施設内で専門各科

県立病院は「県立」を省略して表記

- ✓ 内丸MCでは1ヶ月に2日間 外来の研修+振り返り
1dayバック+レジデントデイ (内丸MCでのブロック研修はプログラム中は行わない)
- ✓ 新 家庭医療医 → ○ の施設で並行研修可能

専攻医インタビュー

今川 竜二 (専2年目)

- 岡山出身
- 筑波大卒
- 生まれつき 聾啞
- 青森県十和田、神戸、三重で研修
- 2021~ 岩手県立中央病院
- 大学までラグビー
- 趣味は筋トレ



なぜ総合診療専門研修を選択されましたか？

以前、山奥のきれいな川がみえる自宅で最期を迎えたいという、癌末期の高齢の女性と出会いました。外来通院を続けた後、ご自宅に戻っていただきました。しかし、いざ最期の時に救急搬送され、自分もご家族も後悔が残りました。もっと準備を整える必要がありましたが、そのための考え方や具体的なやり方が十分にはわかっていなかったんです。病気に対応するだけでは患者さんを幸せにはできないと痛感し、生活や心理社会的な面も総合的に勉強したいと総合診療に進むことにしました。

なぜ岩手にいらしたのですか？岩手のいいところは？

岩手は歴史的に地域医療に実績があると聞いて選びました。母の実家が青森で、八幡平や小岩井農場によく行きました。自然が豊かで、穏やかな風土がとても気に入っています。遠野では地元の方が親身に話を聞いてくれました。人が温かくて優しいのは、岩手の素晴らしいところだと思います。

実際に総合診療の研修を始めていかがですか？

総合診療医はいろいろな人とコミュニケーションを取って協力しなければなりません。障害もあってコミュニケーションに苦手意識があり、自分から積極的につながることは正直ちょっと大変です。でも、みんなで一緒に患者さんを幸せにできることに充実感を感じています。自分の障害に理解をして、ペースをあわせて下さるのでありがたいです。県立中央病院では貴重な臨床経験をたくさんしています。昨年まではせっかく経験しても、それを振り返る余裕が持てませんでした。今年は経験をじっくり振り返って考える時間ができ、俯瞰的、家庭医療学的な視点でフィードバックをもらえるようになりました。自分の成長を実感し、課題について深めることができ、さらに充実しています。

総合診療を考えている皆様にメッセージをお願いします。

病気だけでなく、患者さんをまるごとみて、幸せになってもらうこと、それは私たちにとっても本当に幸せなことです。ぜひ総合診療医になって、その幸せを味わっていただきたいです。岩手でお待ちしています。